

時間を奪うのではなく、時間を与えるソフトウェアを創り続ける

System Integrator

インストールマニュアル

SI Object Browser

for Symfoware Ver.1

1. 動作環境

SI Object Browser for Symfoware Ver.1 の対応動作環境は以下の通りです。

OS バージョン	Windows XP/Vista/7/10/ Server 2003/Server 2008/Server 2012/Server 2012 R2 ※1
対応 RDBMS	Symfoware V9～V12.0/V12.3 ※2
その他	<ul style="list-style-type: none">• Symfoware ODOS ドライバがインストール済みであること• Microsoft Excel(97 以降)がインストール済みであること (レポート出力機能で使用)• インターネットに接続可能な環境があること ※3

※1 SI Object Browser をインストールする PC のバージョンとなります。
(Symfoware サーバーは Linux/Soralis でも動作保証しています。)

※2 Symfoware V12.1 および V12.2 は動作保証外となります。

※3 SI Object Browser ではインターネットによるライセンス認証が導入されています
ので、製品版としてご利用いただくためにはインターネット接続環境が必要となります。
(ただし、製品をインストールするマシンから直接インターネットに接続できない場合でも、
別途、インターネット接続可能なマシンがあれば、製品使用は可能です。詳しくは下記の
「4.製品登録」をご覧ください。)

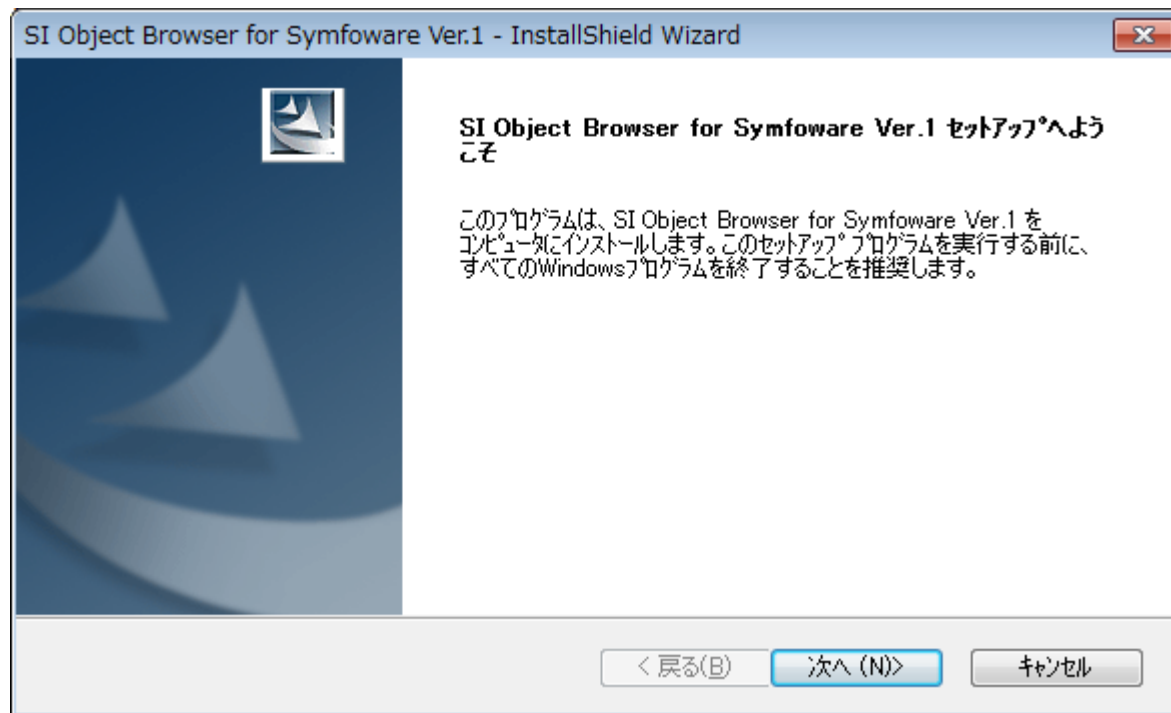
■ 注意

インストール直後のプログラムは、30 日間限定のトライアル版です。起動時に表示される登録画面に
プロダクト KEY を入力することにより、引き続き製品版としてのご使用が可能となります。
(プロダクト KEY を入手するには、ご購入手続きをしていただく必要があります。)

2. インストール

setup.exe をダブルクリックして下さい。

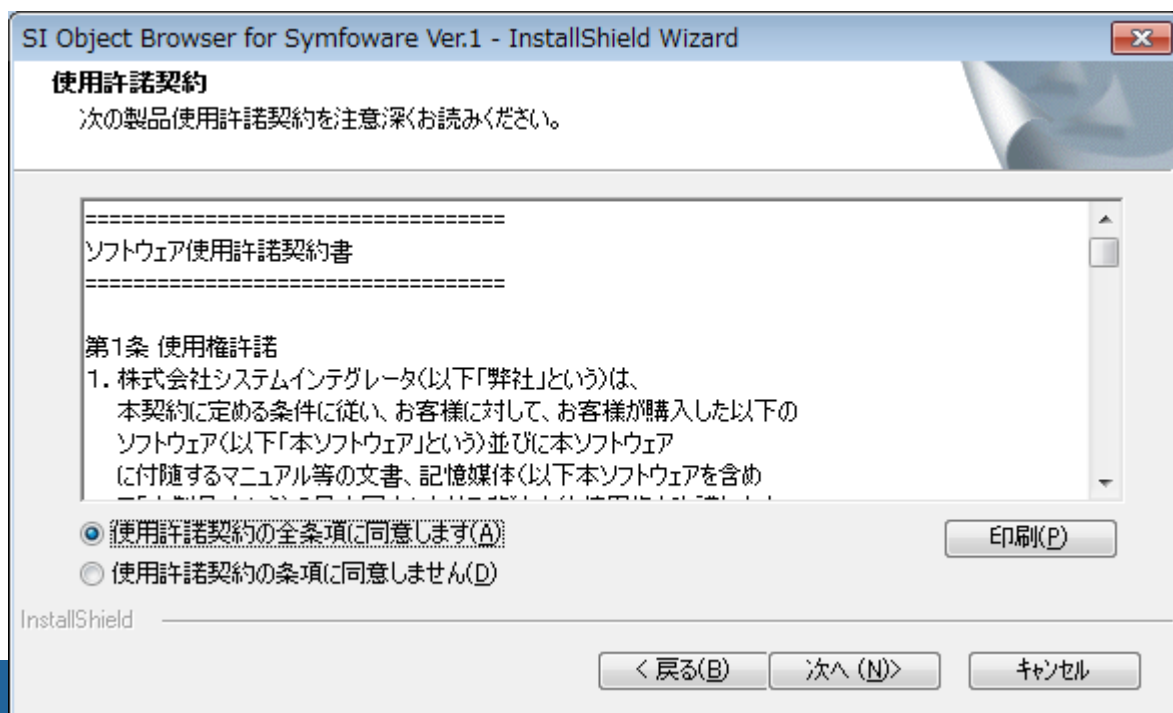
セットアップ画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



使用許諾契約画面が表示されます。

本ソフトウェアをインストールするためには使用許諾契約に同意していただく必要があります。

使用許諾契約をお読みの上、同意していただく場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選んで[次へ]ボタンを押して下さい。（同意されない場合は、[キャンセル]ボタンを押してインストールを中止して下さい。）



2. インストール

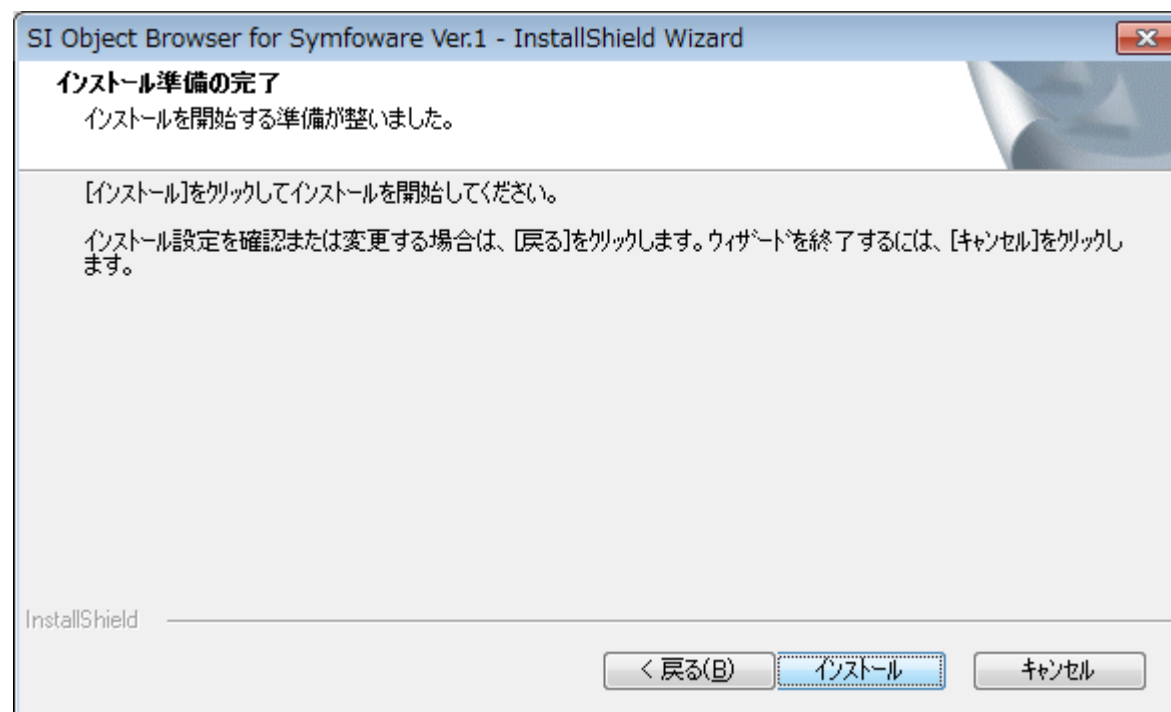
ユーザ情報画面が表示されます。利用者の名前と所属を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

インストールするフォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。

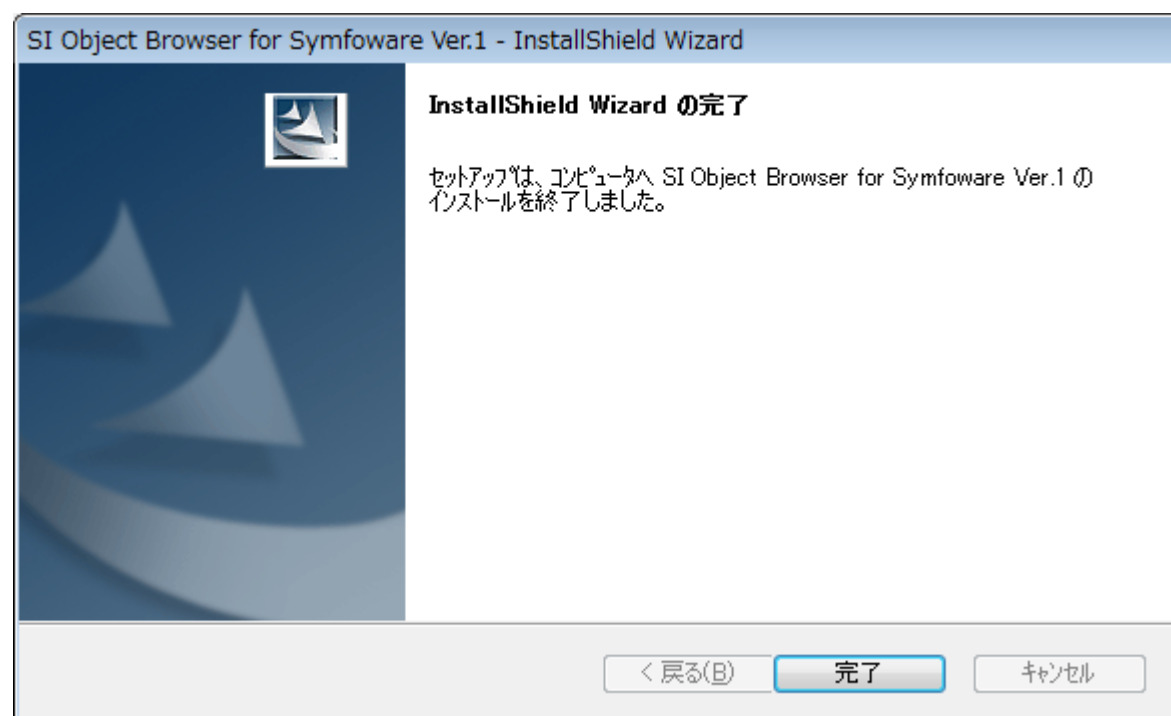


確認画面が表示されます。

インストールする場合は[インストール]ボタンをクリックして下さい。インストールが開始されます。



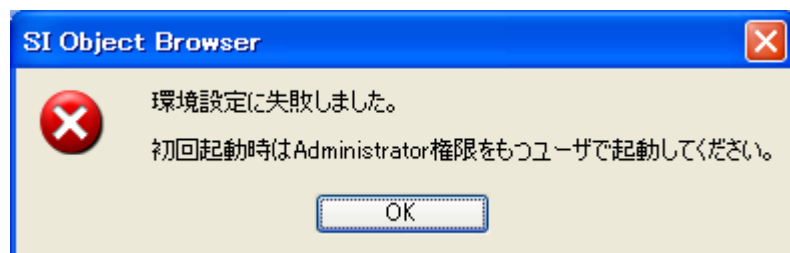
下の画面が表示されましたらセットアップは終了です。[完了]ボタンを押して下さい。



3. インストール後の初回起動

インストール後の初回の起動は、
必ず Administrator 権限をもつユーザで SI Object Browser の起動を行ってください。
(2回目以降の起動は Administrator 権限をもたないユーザでかまいません。)

Administrator 権限をもたないユーザで起動した場合は、以下のようなメッセージが表示されますので、
Administrator 権限をもつユーザにログインしなおした上、再度 SI Object Browser の起動を行ってください。



4. 製品登録

製品をご購入のお客様が、トライアル版から製品版にするための手順を案内いたします。

当製品ではインターネットによるライセンス認証が導入されています。

購入したライセンス数をこえての製品使用を行うことはできませんのでご注意ください。

※ライセンス認証は、製品が正規にライセンスを受けたことを確認するために行うライセンスの不正使用防止技術です。
ライセンス認証を行っても、個人情報が送信されることはありません。

① 「3. インストール後の初回起動」と同様に、

Administrator 権限のあるユーザ(OS が WindowsVista 以降の場合は管理者モード)にて製品を起動します。
起動画面にてプロダクト NO、プロダクト KEY を入力後、[ライセンス認証 KEY の取得]ボタンをクリックします。

バージョン情報

SI Object Browser for Symfoware
Version 1.1.0.0
Copyright(c) 1997,2016
System Integrator Corporation

30日間の試用期限が切れました。
プロダクトNO, プロダクトKEY, ライセンス認証KEYを
入力して頂きますと継続してご利用いただけます。

プロダクトNO.

プロダクトKEY

ライセンス認証KEY

ライセンス認証KEYの取得

登録 終了

②インターネットに接続できる場合

インターネットに接続できる場合は以下のような画面が表示されます。

登録名を入力後、[登録]ボタンをクリックします。

ライセンス認証

SI Object Browser ライセンス認証

ライセンス登録を行い、ライセンス認証KEYを取得します。

プロダクトNO

プロダクトKEY

認証番号

登録名

※登録名は、御社にてライセンスの登録状況を調べるために使用します。
御社内にてライセンス使用者を識別するための名前を入力してください。

登録

インターネットにてライセンス登録を行います。[登録]ボタンを押してください。
「ページを表示できません」と表示される場合、インターネット接続可能な環境より
<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=1>
にアクセスし、以下の情報を入力してライセンス認証KEYを取得してください。

プロダクトNO. :

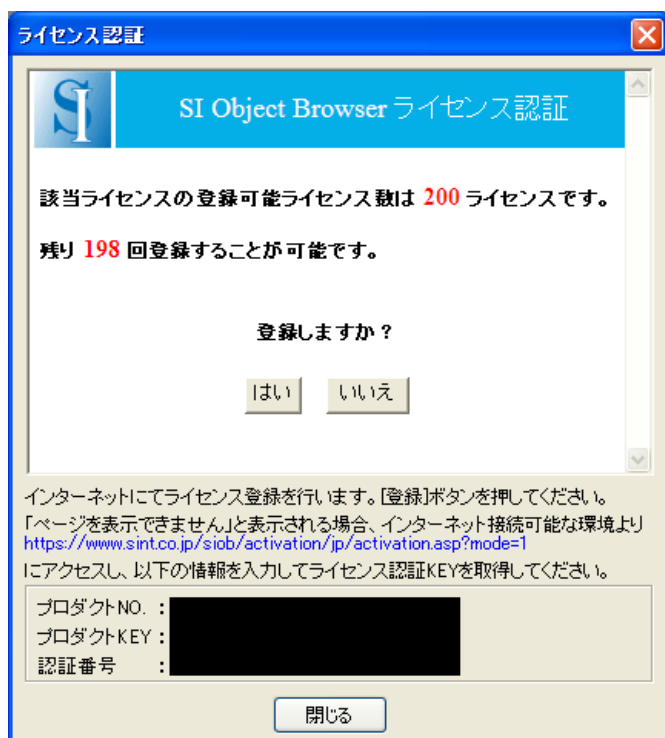
プロダクトKEY :

認証番号 :

開じる

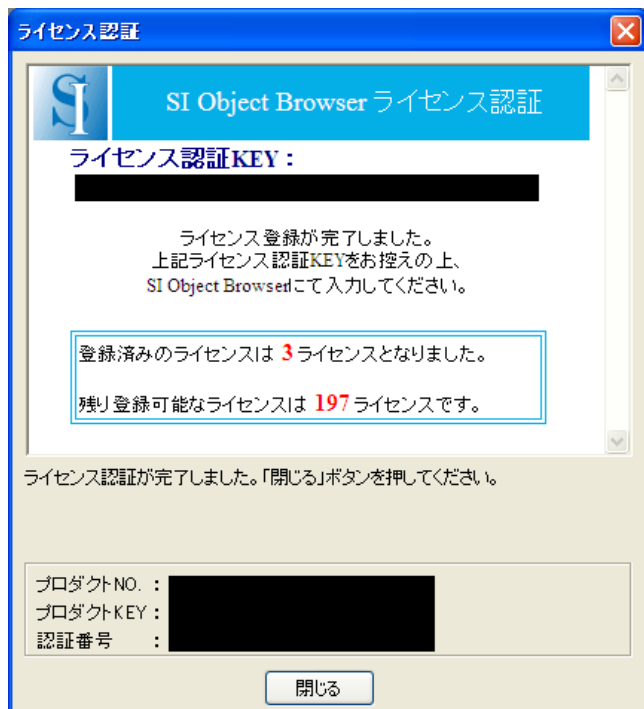
※「登録名」は誰がそのライセンスを使用しているのか、ライセンス管理者が確認するためのものです。
ニックネームなど何でもかまいませんが、貴社におけるライセンスの管理者が、社内の使用者を
特定できるような名前をご入力ください。

ライセンスの登録状況が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



4. 製品登録

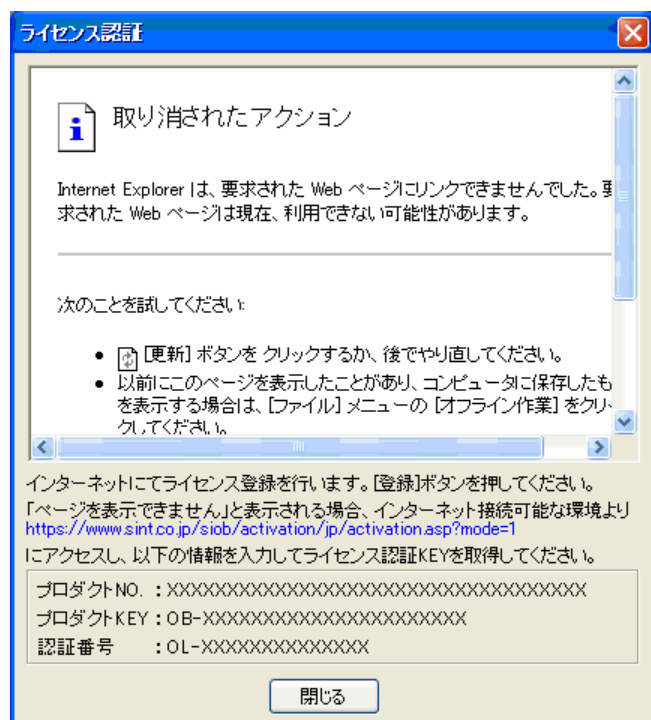
ライセンス認証 KEY が表示されます。[開じる]をクリックします。



インターネットに接続できない場合

インターネットに接続できない場合は、以下のような画面になりますので、

画面下部に表示される「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「認証番号」を控えてください。

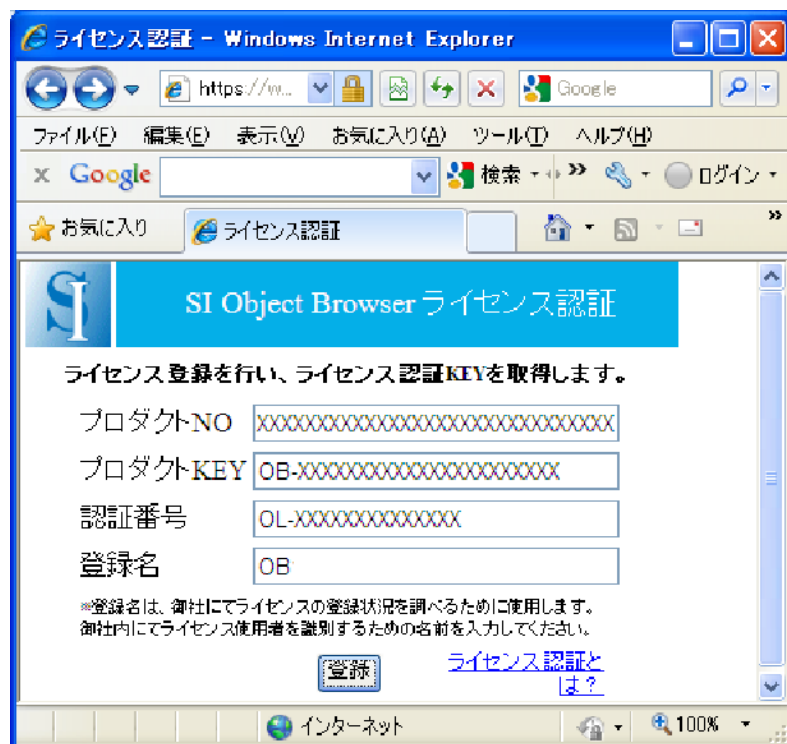


次に別途、インターネット接続できる環境の Web ブラウザより、以下の URL までアクセスします。

<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=1>

4. 製品登録

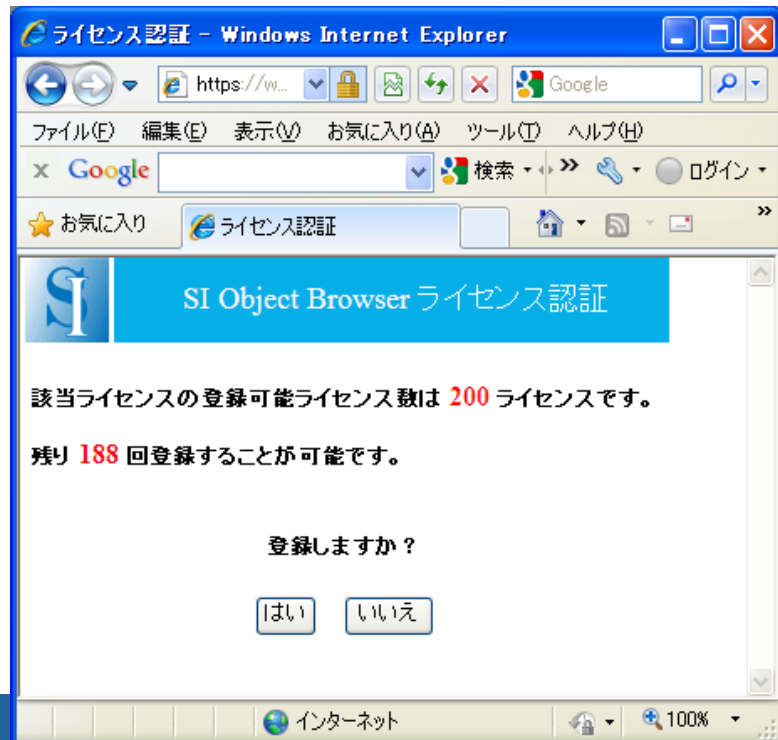
「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「認証番号」、「登録名」を入力後、[登録] ボタンをクリックします。



※「登録名」は誰がそのライセンスを使用しているのか、ライセンス管理者が確認するためのものです。

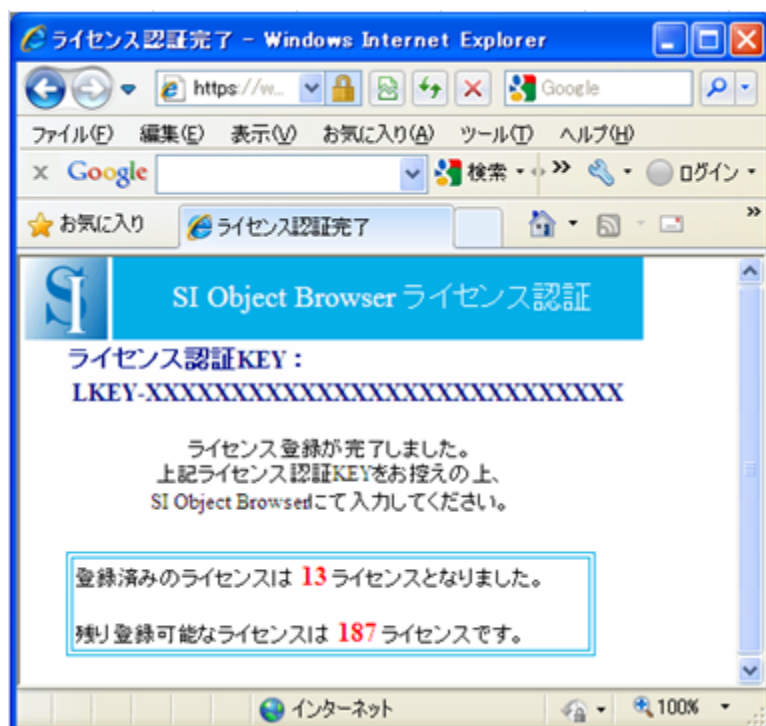
ニックネームなど何でもかまいませんが、貴社におけるライセンスの管理者が、社内の使用者を特定できるような名前をご入力ください。

ライセンスの登録状況が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



4. 製品登録

ライセンス認証 KEY が表示されます。ライセンス認証 KEY を控えてください。



- ③起動時の画面に戻り、②で取得したライセンス認証 KEY を入力し、**【登録】**ボタンをクリックします。
「ライセンス登録を終了しました。」とメッセージが表示されます。以上で製品登録は完了です。

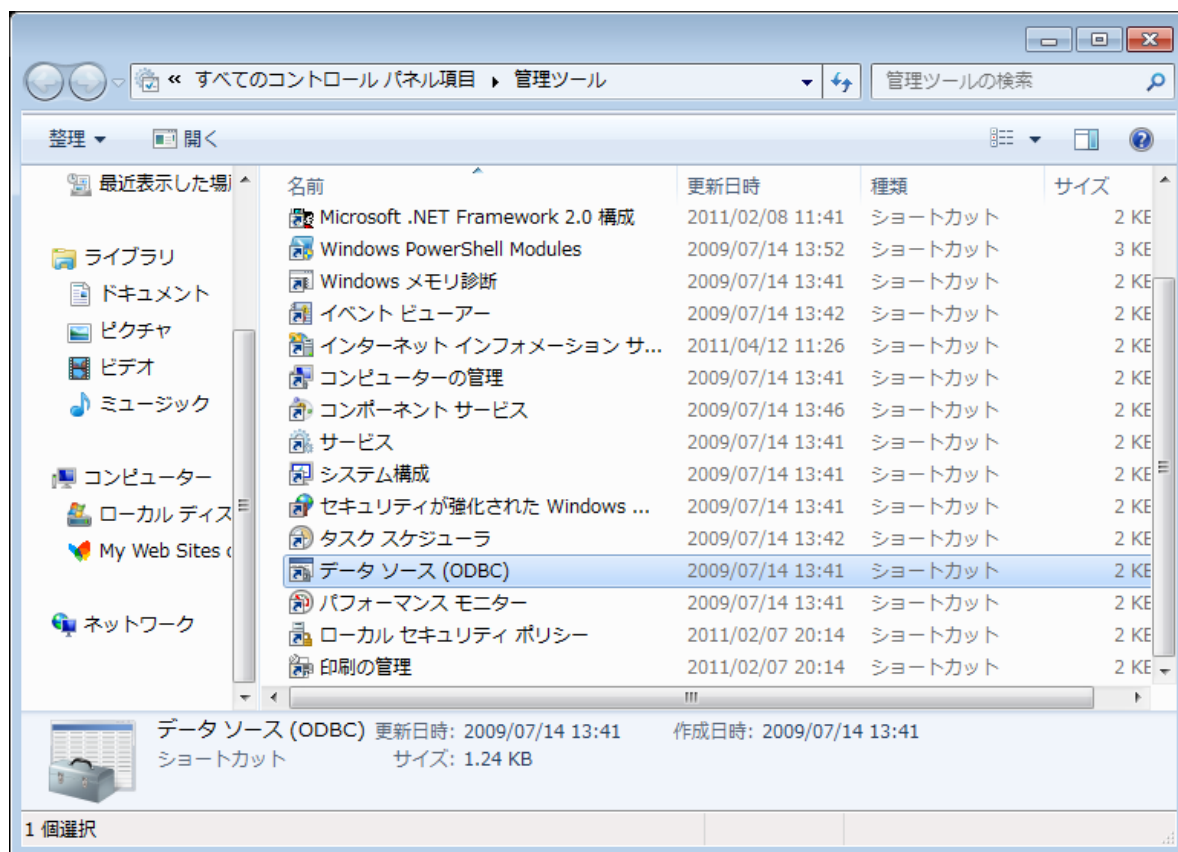


5. データベース接続の設定

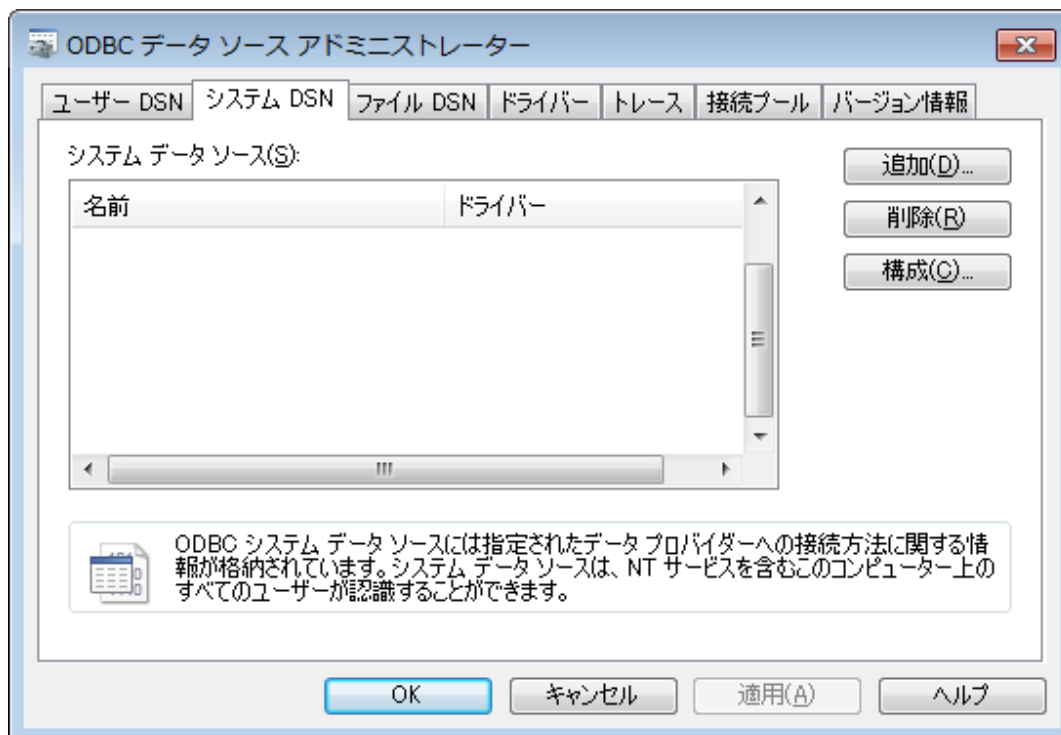
Object Browser で Symfoware データベースに接続するためには、データソース（ODBC）の設定が必要となります。以下の手順にて、データソース（ODBC）を作成してください。

※実施する際は、あらかじめ Symfoware 付属 ODOS ドライバがインストールされている必要があります。

- ① Windows のスタートメニューより「コントロールパネル」を選択します。
- ② 「管理ツール」>「ODBC ドライバ」を開きます。



- ③ [システム DSN] タブにある [追加] ボタンをクリックします。



- ④ 以下のような画面が表示されますので、「Symfoware ODOS」を選択します。



⑥以下のような画面が表示されますので、それぞれの設定項目を以下のとおり入力します。

設定方法は接続先のデータベースがローカル（クライアント PC と同一）か、
リモート（クライアント PC とサーバー PC が別）でそれぞれ方法が変わります。
それぞれ下記の通り入力します。

[リモートアクセスの場合]

=====

データソース名：接続するデータベース名
接続情報：RDB2_TCP
データ資源名：接続する RDB システム名
ホスト名：Symfoware サーバー名または IP アドレス
ポート番号：接続するデータベース名

=====

[ローカルアクセスの場合]

=====

データソース名：接続するデータベース名
RDB システム名：接続する RDB システム名
データベース名：接続するデータベース名

=====

Symfoware ODOS セットアップ

データソース名: DB1

接続情報

	接続プロトコル	データ資源名	ホスト名	ポート番号
<input checked="" type="radio"/> リモートアクセス	RDB2_TCP	RDB1	DB1	22200
<input type="radio"/> ローカルアクセス	RDBシステム名	データベース名		

スキーマ名:

☐ Symfoware 利用者認証を使用する

DBサーバOS: ☒ Solaris / Linux / Windows
☐ OS IV

注意事項
 トランザクションの独立性水準は、READ UNCOMMITTEDを初期値で表示しています。
 修正が必要な場合は、オプション設定画面の内容を確認し、修正してください。

OK キャンセル オプション ヘルプ

その後は規定の設定で構いません。入力後、「OK」ボタンをクリックします。 **5. データベース接続の設定**

以上で設定は完了です。SI Object Browser for Symfoware を起動し、「データベース」のコンボボックスにて⑥で設定したデータソース名が選択できることを確認してください。その後、ユーザーID、パスワードを入力し、データベース接続できることをご確認ください。

※複数データベースに接続する場合は、上記①～⑥をデータベースごとに実施してください。

ログオン

接続先リスト	ユーザーID	データベース
▲ ▼ ×		

ユーザーID ADMINISTRATOR

パスワード *****

データソース DB1 ▼

☐ 接続先リストに登録する

接続 キャンセル

※⑥の設定では、「データソース名」を必ず接続先データベース名と同一にしてください。
その他の名前で ODBC ドライバを登録し、データベース接続することも可能ですが、
接続後の動作に関して、誤動作が発生いたします。

6. 製品の登録解除

製品登録後、マシンを入れ替える場合や、再登録したい場合は、ライセンスを解除していただく必要があります。それぞれ以下の手順にて行ってください。

- 現在のマシンから他のマシンへ製品を入れ替えたい場合

「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」よりアンインストールしてください。

ライセンスが登録済の場合は、自動でライセンス解除画面が表示されます。

- 新しいプロダクト KEY で製品を再登録したい場合

上記と同様の手順で、アンインストール後、再度インストールしていただくか、

「3. インストール後の初回起動」と同様に、Administrator 権限のあるユーザ(OS が Windows Vista 以降の場合は管理者モード)にて製品を起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」を選択します。

以下のような画面が表示されますので、[ライセンス情報の削除]ボタンをクリックします。

削除の確認のダイアログが表示されますので、[はい]をクリックします。

※[はい]を押した時点で、再度製品登録を行うまで製品は使用不可となります。ご注意ください。



ライセンス解除画面が表示された後は、以下の操作を行ってください。

②インターネットに接続できる場合

インターネットに接続できる場合は以下のような画面が表示されます。

[解除]ボタンをクリックします。

ライセンス認証

SI Object Browser ライセンス認証

ライセンスの解除を行います。

プロダクトNO

プロダクトKEY

解除番号

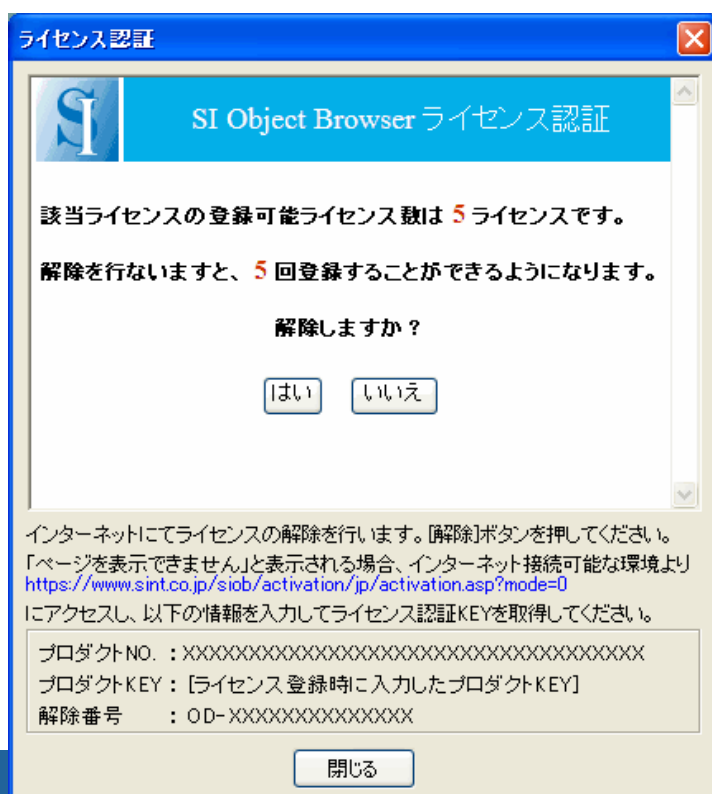
解除

インターネットにてライセンスの解除を行います。[解除]ボタンを押してください。
「ページを表示できません」と表示される場合、インターネット接続可能な環境より
<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=0>
にアクセスし、以下の情報を入力してライセンス認証KEYを取得してください。

プロダクトNO : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
プロダクトKEY : [ライセンス登録時に入力したプロダクトKEY]
解除番号 : OD-XXXXXXXXXXXX

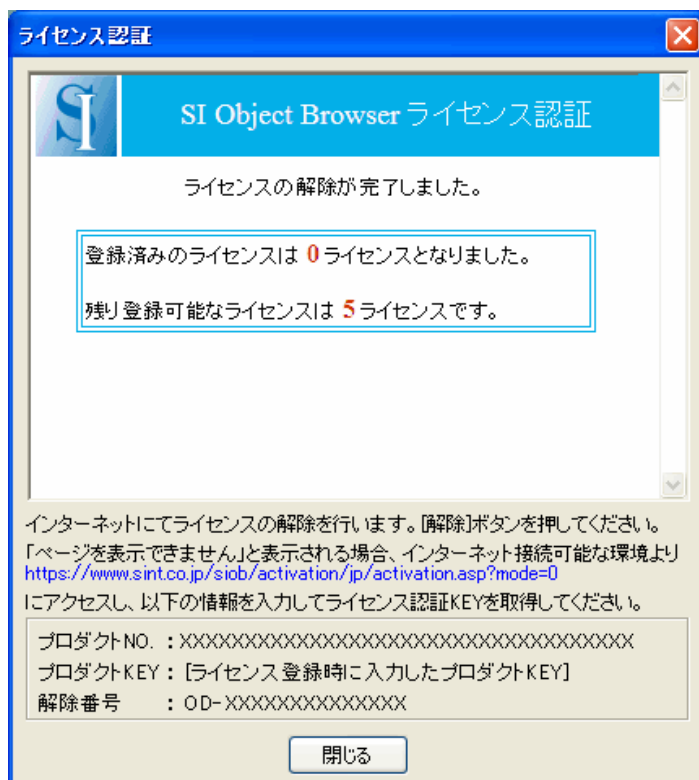
閉じる

ライセンスの登録状況が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



6. 製品の登録解除

ライセンス解除の完了画面が表示されます。【閉じる】をクリックします。
SI Object Browser が自動で終了されます。



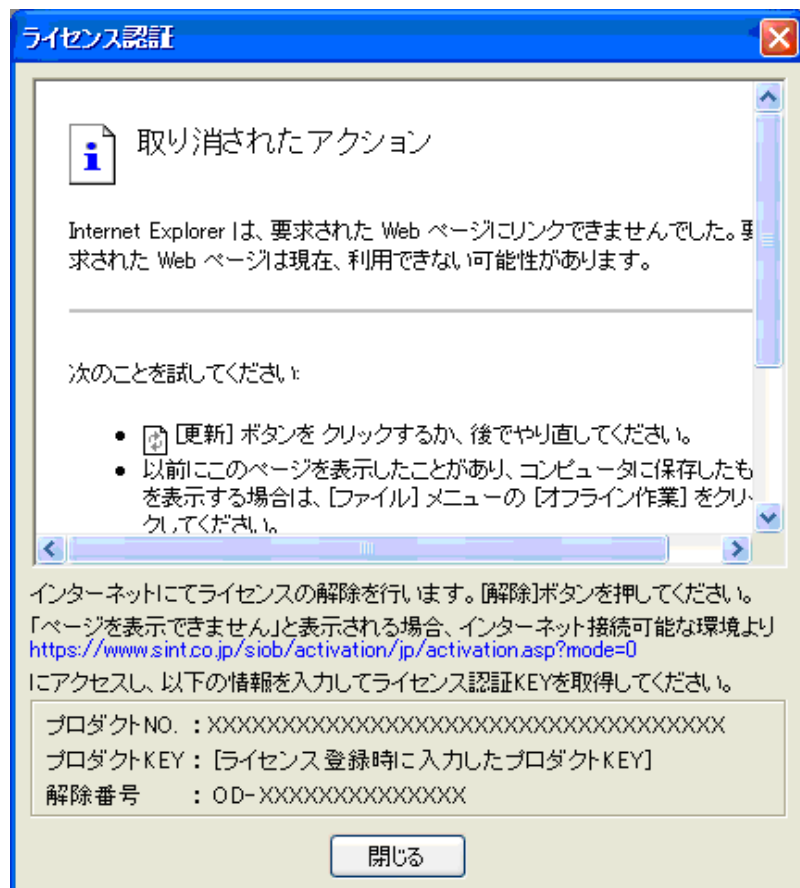
インターネットに接続できない場合

インターネットに接続できない場合は、以下のような画面になりますので、画面下部に表示される「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「解除番号」を控えてください。

「解除番号」はあとで調べることができませんのでここで必ずお控え下さい。

[閉じる]を押してください。終了確認の警告が表示されますので、[はい]をクリックします。

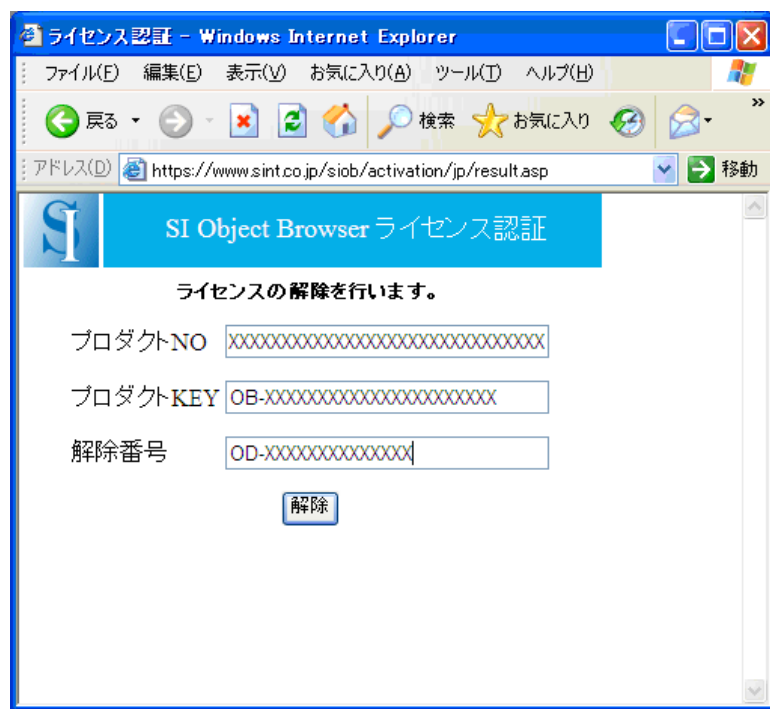
SI Object Browser が自動終了します。



次に、別途インターネット接続できる環境の Web ブラウザより、以下の URL までアクセスします。

<https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/activation.asp?mode=0>

「プロダクト NO」、「プロダクト KEY」、「解除番号」を入力後、[解除]ボタンをクリックします。



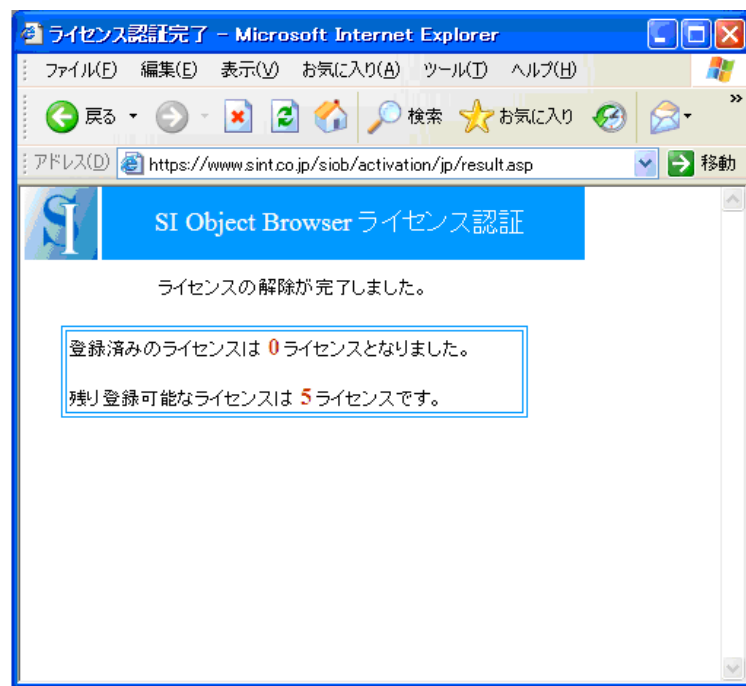
The screenshot shows a web browser window titled "ライセンス認証 - Windows Internet Explorer". The address bar displays "https://www.sint.co.jp/siob/activation/jp/result.asp". The page content includes a blue header with the "SI Object Browser ライセンス認証" logo. Below the header, the text "ライセンスの解除を行います。" is displayed. There are three input fields: "プロダクトNO" with a placeholder of "XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX", "プロダクトKEY" with a placeholder of "OB-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX", and "解除番号" with a placeholder of "OD-XXXXXXXXXXXX". A blue button labeled "解除" is positioned below the input fields.

ライセンスの登録状況が表示されます。[はい]ボタンをクリックします。



The screenshot shows the same web browser window as the previous one. The page content now displays the message "該当ライセンスの登録可能ライセンス数は 5 ライセンスです。" followed by "解除を行ないますと、5 回登録することができるようになります。". Below this, the question "解除しますか？" is shown, with two buttons: "はい" (Yes) and "いいえ" (No).

ライセンス解除の完了画面が表示されます。



以上で製品登録の解除は完了です。

製品解除後、別のプロダクト KEY でライセンス登録する場合は再度 SI Object Browser を起動し、製品登録を行ってください。